

指導者側のアンケート調査

調査対象者：マリンアクティビティ指導者32名（男20名、女9名、不明3名）
調査時期：2020年8月～2021年3月

マリンアクティビティ指導後の主な感想について

- | | |
|--------------------------------------|------|
| ■ 参加者一人一人の身体的特徴を考えるようになった。 | 4.77 |
| ■ 障がいのある人を支援することで、喜びを感じるようになった。 | 4.7 |
| ■ 障がいのある人もない人も感動する体験をしてほしいと思うようになった。 | 4.87 |
| ■ 障がいのある人との触れ合いであなた自身に成長があった。 | 4.63 |
| ■ 障がいのある人への見方や理解が深まった。 | 4.6 |
| ■ 今後も、さまざまな障がいのある人を受け入れたいと思う。 | 4.53 |

※調査項目5件法（1：当てはまらない～5：当てはまる）による質問

具体的な感想のまとめ

指導してよかったと思う点はどのようなことですか？

- ・「お客様の笑顔・喜び」18件
- ・「一緒に楽しめる、達成感を得られる」4件
- ・「サポートできる喜び」3件

指導を通して成長できたと感じるのはどんなことですか？

- ・「視野の広がり」9件
- ・「相手の心を推し量る力」4件
- ・「インストラクターとしてのスキル向上」4件
- ・「障がい・障がい者の理解」3件

指導者側の考察

指導者（インストラクター）は通常のサービス提供よりも顧客の満足感を直に感じる事ができ、働きがいに通じていることがわかった。
また、自己の成長欲求にもつながりサービス向上への意欲が高まった。



全ての人がマリンアクティビティを楽しめる社会を ユニバーサル・マリンアクティビティ — アンケート調査 —



お問い合わせ

ZEROGRAVITY

一般社団法人ゼログラヴィティ

TEL:0997-76-3901

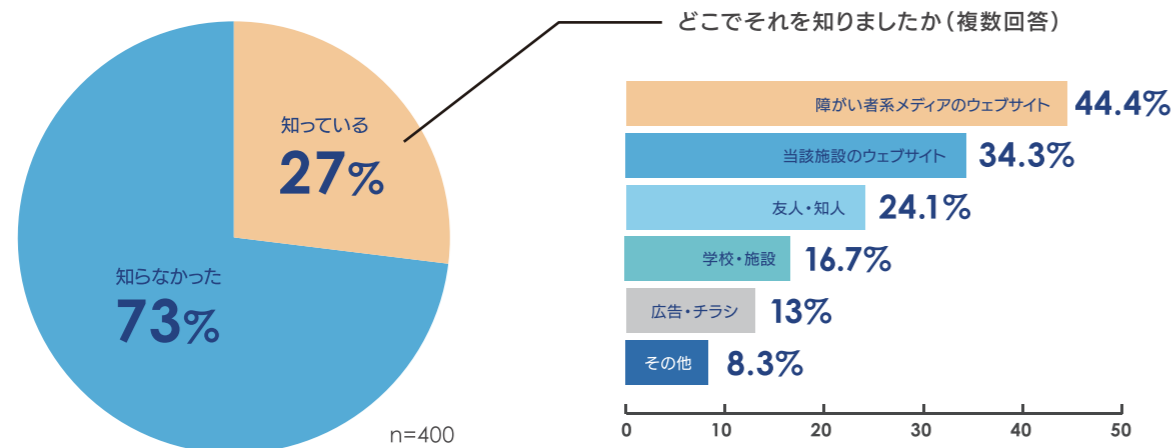
担当:河本

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

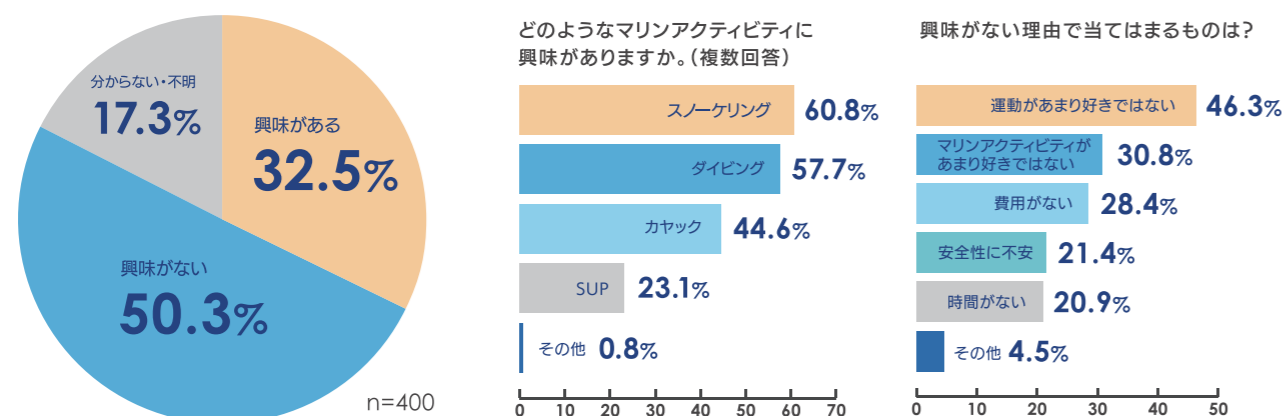
障がい者のマリナクティビティに関するニーズ調査

調査対象者：身体障がい者
 居住地：全国
 性別：男女
 年齢：不問
 調査方法：インターネットリサーチ調査
 調査期間：2020年9月9日～9月28日
 回収サンプル数：400

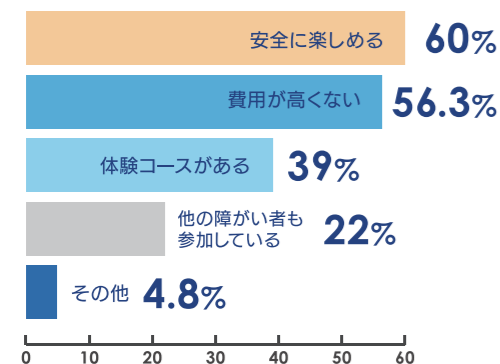
Q1.あなたは障がい者が参加できるマリナクティビティがあることを知っていますか



Q2.あなた障がい者が参加できるマリナクティビティに興味がありますか



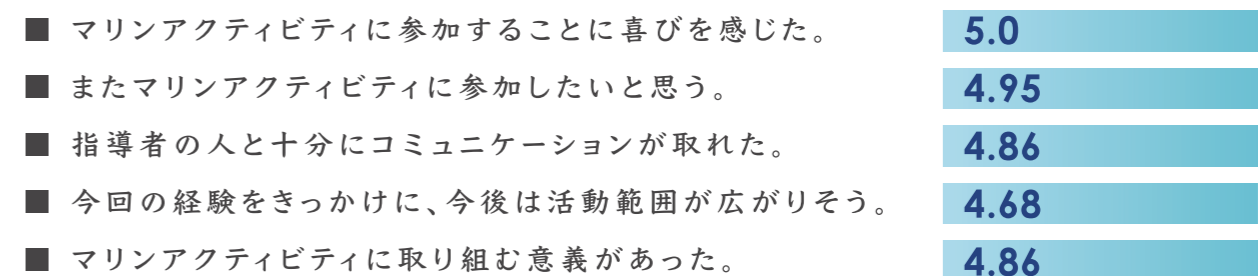
Q3.あなたがマリナクティビティに参加する条件は何ですか(複数回答)



参加者の満足度調査

調査対象者：マリナクティビティに参加した障がい者、または(本人の回答が困難な場合)ご家族 計23名(男9名、女12名、不明2名)
 調査時期：2020年8月～2021年3月

マリナクティビティ参加後の主な感想について



※調査項目5件法(1:当てはまらない～5:当てはまる)による質問

具体的な感想のまとめ

マリナクティビティに参加して良かったと思うことは? この体験はあなたにどのような影響を与えますか?

- ・「世界が広がったこと」・・・8件
- ・「人との触れ合い」・・・6件
- ・「自然との触れ合い」・・・4件
- ・その他、「疼痛軽減」や「障害を忘れて過ごせた」・・・各1件

- ・「挑戦する意欲」・・・10件
- ・「自信の向上」・・・2件

設備に対する希望や要望について

利用施設について希望や要望はありますか?

- 「特になし」・・・8件
- その他下記が整備されていると良いとの希望や要望あり
- ・玄関入口の段差
- ・道の舗装
- ・風呂用の車椅子
- ・階段の手すり
- ・エレベーター
- ・買い物できる場所
- ・トイレ
- ・更衣場所
- ・休憩所
- ・車いす対応の食事処
- ・落下防止の簡易ベッド柵

参加する上で困ったことはありますか?

- 「特になし」・・・9件
- その他の意見
- ・できる限りの情報提供
- ・施設が増えて欲しい

参加者側の考察

マリナクティビティの参加は、他者への共感や自分の可能性を広げる結果となっており、単なるレジャーの枠を超えた体験となっている。